

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式								
E142M014		住居学 (Housing and Living Design )														
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2	3	教育学部			氏名 川田 菜穂子 E-mail kawata@oita-u.ac.jp 内線 7608										
授業の概要	家庭科の住生活領域であつかう住まいの諸課題について、より専門的な視野から理解する。わが国の住宅事情や住宅政策、住宅問題について、その特性を把握する。住環境について、福祉の観点から課題を明らかにし、その対応策について学ぶ。とくに、子どもや高齢者、障がい者等に着目し、よりよい住まいのあり方について検討する。住教育の意義や効果的な実践手法についても考える。															
具体的な到達目標						DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
目標1	家庭科の住生活領域であつかう住まいの諸課題について、概要を説明できる。															
目標2	わが国の住宅事情や住宅政策、住宅問題の特性を説明できる。															
目標3	子どもや高齢者等にとってよりよい住まいを検討し、改善策を提案することができる。															
目標4	住教育の意義を理解し、効果的な実践ができる。															
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	ガイダンス わが国の住宅事情															
2	わが国の住宅政策・住宅問題															
3	住まいに関する法制度・維持管理															
4	子ども・子育て期の住環境															
5	高齢者・障がい者の住環境															
6	演習(1) ユバーサル・デザインと福祉のまちづくり															
7	演習(2) 住宅改修															
8	演習(3) 福祉用具															
9	快適な住環境・住環境の測定															
10	伝統的な住まいとまちづくり															
11	演習(4) フィールドワーク															
12	演習(5) フィールドワーク															
13	演習(6) フィールドワーク															
14	住教育の意義と実践															
15	演習(7) 教材の検討・住教育の実践															
ラ ー ク ニ テ ン イ グ レ ー ド	A:知識の定着・確認	演習、ディスカッション、住宅改修の提案、プレゼンテーション、フィールドワーク				工 夫 そ の 他 の										
時間外学習の内容と時間の目安	準備 学修	住まいに関する著書や新聞記事などを読み、予習する(15h)。														
	事後 学修	授業中に課された演習課題に取り組む(15h)。														
教科書	教科書は指定しない。 授業中に配布するプリントを使用する。															
参考書	中学校学習指導要領、および解説(技術・家庭編) 高等学校学習指導要領、および解説(家庭編) その他、授業中に適宜紹介する。															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	演習	50%														
	レポート	30%														
	授業に関する取り組み姿勢	20%														
注意事項	フィールドワークは、社会情勢や天候によって、中止の可能性がある。															
備考	フィールドワークの詳細は、ガイダンス時に案内する。															
リンク																
	URL															

担当教員の 実務経験の 有無	
教員の实務 経験	住宅企業勤務